

令和2年度 市民活動補助金交付事業オンライン成果報告会



「報告会の概要」

- 1 日時 令和3年3月13日（土）午前10時～午前11時30分
- 2 内容
(1) 令和2年度に市民活動補助金を活用し、様々な地域課題の解決に取り組んだ4団体が、事業の成果報告を行いました。
(2) 安城市市民協働サポータークラブ（※）の協力をいただき、オンライン（Zoom）にて開催しました。

※ 市民協働課で実施した人材養成講座「まちづくり人^{ひと}養成講座」を修了した「市民協働サポーター」を中心として組織した市民活動団体で、協働をコーディネートする中間支援団体



事業を実施した4団体へのコメント



コメントは一部抜粋

① 認定特定非営利活動法人地球温暖化対策地域協議会エコネットあんじょう 「命の水は、根羽村の矢作川水源の森から生まれる」

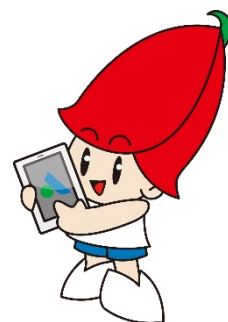


- ・水源の重要性がよく理解できました。広く市民に周知できるといいですね。
- ・動画を YouTube で確認させていただきます。
- ・新型コロナウイルスの影響でできなかった学生との協働について、新型コロナが収まりましたら、ぜひ協働という形で進めていただければと思います。
- ・DVD を作成することも重要ですが、最終的にはそれを使って普及啓発、リアルな活動を通じた利用が重要であると思います。ぜひご活用ください。

② 国際ソロフチミスト安城

「多文化共生社会の実現「全ての子に就学機会を」」

- ・多文化共生は、安城市内の地域課題でもあり、共生は市民への啓発活動でもあります。更に協働や支援が進むように願っています。
- ・パンフレットは有効なツールであると思います。まとめられた内容や感じたことをぜひ政策提言というのにつなげていただけるといいのかなと思います。



③ Social Capital Incline

「不登校の子と親の居場『おこのみ会』」



- ・デリケートな子どもの心に寄り添った応援を引き続きお願いします。親御さんの悩みの共有場所、つながりになるスタッフのみなさんの支援も必要です。頑張ってください。
- ・学校でも適応教室でもない居場所、子供にとって必要な大切な場所だと思います。
- ・「第3の大人・居場所」との関わりは子どもに必要であり、多様な交流を通じて安心安全で守られていることで、次に進んでいけると思います。さらに発展するように応援しています。
- ・同年齢の地域の子どもたちや保護者の方々が抱える問題を他人事としてではなく、身近なこととして共有できるようになればいいと願っています
- ・子ども達は多種多様であり、ひとつの取組だけで解決できることではないと思いますので、いろいろな団体がいろいろな役割を担えばいいと思いますので、おこのみ会さんは対象を絞って、重点的にやっていただけるといいのかなと思います。

④ 自然に学び・ローゼルを育てる会

「ローゼル植えて“地域福祉”の花を咲かそうよ」

- ・ローゼル栽培を通じて「福祉事業や農福連携事業」の発展に寄与している点が、素晴らしいと思います。ゆるぎない信念が更なる発展につながることを願っています。
- ・コロナ禍で活動はご苦労があったと思います。デンソーさんで採用されたお話はとてもうれしく思います。コロナ禍でも商品の販売ができ、これからは宣伝がもっとできるといいと思いました。
- ・10年以上続けている団体で、コンセプトも非常に良いと思いますし、活動自体もすばらしいと思います。これをどうやって続けていくのかということ、理念や活動内容をどのようにしたら継承できるか、ぜひ考えていただけるといいのかなと思います。



全体を通して

- ・全ての団体が今日的な社会課題を取り上げ、チャレンジしていただいたということは、非常にリスペクトされてもいいことであると思います。
- ・補助金交付事業は、市民からの寄附金と、それと同額の公的資金からなる基金から交付されています。令和3年度に取り組みされる団体も、本日発表した団体と同様に、公的資金を用いて、社会的課題に取り組んでいるという点を踏まえた事業展開をお願いしたいと思います。
- ・新型コロナウイルス感染症の収束見込みがないなかで、4団体の方が工夫されて進められていました。本日の話を参考にしながら、令和3年度に実施される団体も、いろいろ工夫して活動していただきたいと思います。
- ・市民活動は団塊世代が牽引してきたわけですが、そろそろ世代交代も考えなくてはいいということをおもっています。ただ、同じ団体を無理矢理継承させる必要はなく、それぞれの考え方で新しい市民活動をしていただければいいかと思います。我々はそれを支援することが重要で、考え方が継承されることより、支援することが重要であると思います。
- ・補助金制度は、市民からの寄附が途絶えると、いずれは資金が底をついて枯渇するということとなりますので、皆様もぜひ寄附していただければと思います。